

「貧困からの脱却」3

クリスマスプレゼントはなかった 一子どもの貧困

「貧困」とは、どのようなものなのでしょうか。これは、人によって考えも違いますし、国や地域によってもさまざまかもしれません。貧困についての代表的な考え方として「絶対的貧困」と「相対的貧困」があります。

「絶対的貧困」は、食べ物がない、家がないなど、生きるために必要なものがないような貧困のことを意味します。私たちが一般に「貧困」と聞いてイメージするのは、このような貧困です。

それに対して、ある社会で「普通」とされる生活をするのが難しいような状態を「相対的貧困」と呼びます。例えば、現代の日本で、習い事ができない、高校へ行けない、家族と旅行へ行けないという状態は相対的貧困と言えるでしょう。日本の子どもの貧困率(2015年)は 13.9 %、さらにひとり親家庭の子どもの貧困率は 50.8 % と先進国のなかでも最も低いとされています。つまり、相対的貧困という点から見れば日本の7人に一人の子どもが、「貧困」の状況です。以下は、高校生になった子どもたちが話してくれた状況です。

ヒロシ「クリスマスプレゼントはなかった。ケーキは食べた。次の日友達が、昨日プレゼントが枕のそばにあったって話を聞いて、ふーんそうなんだって。親には言わなかった。」

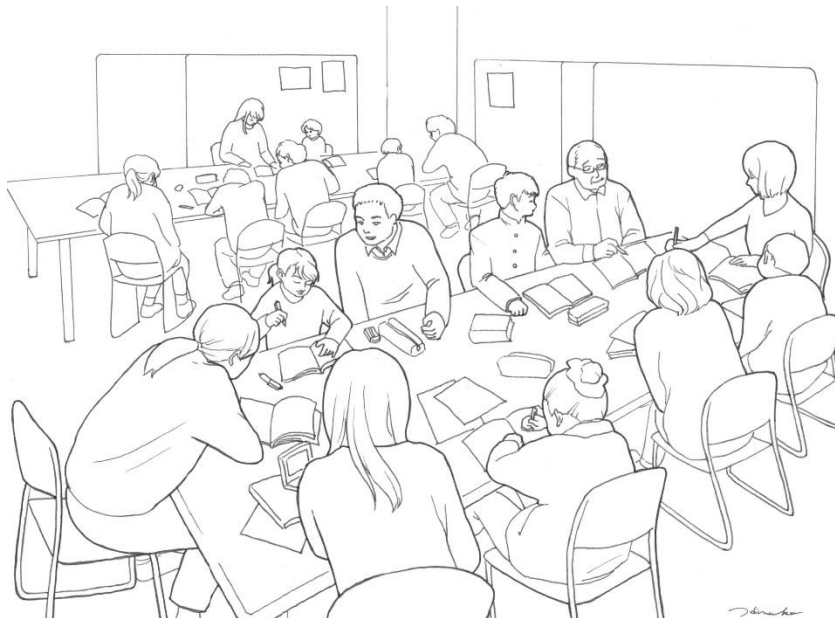
トモユキ「習い事は一切していない。だから学校の授業の水泳とか、苦勞しました。近所の子でスイミングスクールとか、習字とかやってる子がいて、いいなって。親に行きたいと言ったことはあるけど無理って言われました。」

ナナ「友達は家にやっぱり連れて来たくない。普通の生活レベルじゃないでしょ。恥ずかしいからやだ。家を出て学校へ行けば普通なんだと思う。別に外に出ればバレないみたいな。」

レイコ「夢を持たなくなったのは中学生の頃。普通に生きればいかなって。とりあえず早く仕事したいなってのがあった。他の人の夢とか聞いても、ああそうかくらいで何も思わなかった。」

見た目は「普通」に見える子どもが多く、本当はどのような状況なのか知るのが難しいと言われていますが、経済的な理由で十分な教育が受けられない、それによって学校や仕事が自由に選べなくなり、将来に夢を持ってなくなってしまう子どもたちが今、増えています。

このような状況を変えようと、「無料塾」や「子ども食堂」といった試みが行われています。例えば、「無料塾」は、子どもに無料で勉強を教えることで、教育の格差をなくし、親から子へまたその子どもへという「貧困の連鎖」を止めようとするものです。



無料塾



子ども食堂

また、「子ども食堂」では、十分に食事ができない子どもたちに、無料で食事を出し、幸せな時間や地域とのつながりを作ろうとしています。これらの試みは、NPO（Nonprofit Organization：利益のためではなく社会問題の解決のための団体）が中心となって、大学生やその地域に住んでいる人々がボランティア

ティアで手伝っている場合が多いようです。

あなたの住んでいる町でも、貧困をなくするためにさまざまな活動がされているかもしれません。調べてみてはいかがでしょうか。

(1217字)

(2020.12 Written by Yukiko OKUNO)

(All pictures are drawn by Hinako Fujimura)

<参考資料>

- ・「厚生労働省」ウェブサイト「平成 28 年 国民生活基礎調査の概況」
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa16/dl/16.pdf>
- ・「日本子ども支援協会」ウェブサイト
https://npojsa.com/jp_children/poverty.html
- ・阿部彩 (2008) 『子どもの貧困』岩波新書
- ・阿部彩 (2014) 『子どもの貧困Ⅱ』岩波新書
- ・大澤真平 (2008) 「子どもの経験の不平等」『教育福祉研究』, 14, 1-13.

(2021.1.28 ウェブサイト確認)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.